



鷹山宇一記念美術館友の会会報

TAKAYAMA-UICHI MEMORIAL MUSEUM OF ART

令和5年6月15日発行 鷹山宇一記念美術館友の会

〒039-2501 青森県上北郡七戸町字荒熊内 67-94 七戸町立鷹山宇一記念美術館内

TEL 0176-62-5858 FAX 0176-62-5860 e-mail info@takayamamuseum.jp http://www.takayamamuseum.jp/



①開館以来の入館者60万人目のお客様、八重樫美穂子さん(右) 高岡理事より花束と鷹山宇一画集など記念品をお贈りいたしました。青森市から新幹線でお嬢様とお二人、「コンドウアキのおしごと展」を楽しみにお出掛けくださったとのこと。ご来館ありがとうございました。

②1994年8月1日の記念式典の様子
【中段の写真左から】当時の青森県知事・北村正哉氏、青森県議会議員・小原文平氏、鷹山宇一先生と三女・廣田くるみさん、七戸町名誉町民・横哲夫氏、写真家の秋山庄太郎先生。

あれから

近頃では「猛暑」はよく耳にする馴染みのある言葉だけれど、29年前はエアコンのあるお宅もまだ珍しく、我慢ができた七戸の夏。でも、1994年の8月1日は記録的な「熱暑」で、当時を知る方々は「ほんと暑かったねえ」と口々にまるで呪文のようにおっしゃる。この日は、鷹山宇一記念美術館の開館日であり、以て七戸町文化村は開村、灼熱の太陽の下、スペイン広場と称された芝生の中庭(今は駐車場)で、記念式典が行われたのでした。鷹山宇一先生をはじめ、朋友の写真家・秋山庄太郎先生もご出席され、多くの方々がお祝いしてくださった。あれから29年。「コンドウアキのおしごと展」開催中の6月2日、開館以来の入館者60万人目のお客様をお迎えすることができた。有り難いなあと思いつつ、しみじみ開館当時の多彩なお客様との出会いを思い出したりしていた。

特に印象深いお客様ベスト3……絨毯敷きの絵画室入口に揃えられた長靴……汚れるからと気遣って外履きを脱いで作品をご鑑賞くださったお客様……。「入館料が必要ですよ」とお話しすると「じゃあいいです」とお帰りになるお客様(多数)から「またのご来館をお待ちしております」まで早っ5分、来館目的が超絶に明確すぎた? お客様……。

あれから29年。青森県内には美術館も増え、「ついで」ではなく、「楽しみ」の行く先に美術館という選択肢も加わり、今日という一日を過ごす目的の地にもなった。また、招待券をもらって嬉しいとおっしゃってくださったり、新幹線を使ってお出掛けくださったりと、有料無料問わず、美術に触れる体験をスナリ受け入れてくださる方が増えたんだな、と、その心の変化がとても嬉しい。そしてやや30年、この小さな美術館がこうして存在し続けていること自体が奇跡的だとも思う。それは昔も今も変わらず、ご理解くださり、支え、お力添えくださる皆さんがどれほど沢山いらつしやることか……その証明にほかならない。あらためて、深く、厚く、感謝申しあげます。

今年も夏がやって来る。いよいよ『模型のタミヤがやってきた Part 3』が7月8日から始まります。

子どもの頃あんなに楽しかった「ものづくり」のワクワクよ! Comback!! そして人生を振り返ったとき、2023年の夏はいい夏だったな、と、それぞれに素敵な思い出となるひとときをお過ごしただけたなら幸いです。ご家族皆さままで是非ご来館ください。お待ちしております!

(副館長・大沢田亜希子)

鷹山宇一記念美術館友の会

令和五年度通常総会開催



通常総会に先立ち挨拶される下山友の会会長

鷹山宇一記念美術館友の会令和5年度通常総会が令和5年6月10日午後2時から開催され、令和4年度事業報告、貸借対照表並びに収支計算書及び令和4年度剰余金処分案(令和5年度事業計画(案)及び会員計画(案)並びに収支予算書(案)等全ての承認議案が原案のとおり可決され本年度の事業体制が整いました(この報告は、なお、通常総会議案書を別添のとおり同封致します)。本年度も、友の会会員のご理解とご協力をお願い申し上げます。



第2代会長
故盛田駿造氏

その筆、
東京で
びます。
が浮か
な笑顔
る柔和
びます。

謹んで故盛田駿造様の御霊に哀悼の誠を捧げます。
去る11月1日、美術館友の会の事務局長からの電話で突然の訃報を知らされました。
「悲しいお知らせです。」悲痛なその言葉の内容は本当に信じられないものでした。十和田市民文化祭で謡曲をご披露するための練習を重ねておられるはずなのに...
鷹山宇一先生のご長女、ひばり館長率いる『小さな町の小さな美術館』。宇一先生の望外な作品群を所蔵・展示し、感動を分け与えて下さるだけでなく、美術に関心を持ち、芸術を愛する心を育てることをコンセプトとしている美術館の活動のサポート的な立場で平成6年に設立された「友の会」。
その初代山本洋一会長から平成18年、2代目会長として就任された盛田駿造会長でした。それまで担当していた美術館監事と友の会事務局長・兼会計の職からの抜擢。以来10年間、私たちが「友の会の顔」として、適切英断をなさ

弔 辞

鷹山宇一記念美術館友の会
第2代会長故盛田駿造氏の葬儀が、令和5年6月4日に菩提寺である七戸町の青岩寺で執り行われ、下山会長が弔辞を捧げました。
ご冥福をお祈りいたします。

学んでいた大学生時代から、いいえ、ずっとそれ以前から、美術に関心を持ち、講演会・講習会、美術館など様々な施設での展覧会を積極的に回って知識や感性を磨いたと伺っております。そんな豊富なお力、アイデアをふんだんに発揮され、いろいろな魅力あふれる事業を計画し、友の会会員増強にも寄与されました。
そのひとつ、国内のみならず海外への研修旅行を提案され、率先してご参加されました。第2回海外研修旅行で20年来の寒波到来と騒がれたイタリア旅行にご参加された際、ベネチアで奥様が購入された大型のピノキオ人形を大切に背中に背負って旅行を続けられたお姿、奥様の手を取って歩かれる夫唱婦隨の美しいシルエットが今でも目に焼き付いています。
宇一先生の「生誕百周年記念祭」や「友の会設立20周年記念事業」などを初めとする数々の行事を立派に成し遂げられ、会の繁栄に大いなる足跡を残されました。
生きとし生ける者は何時か黄泉の国に行かれるとは言え、まだまだご指導、ご援助をいただかなければならないと思つていた矢先、偉大な方を失つたことは私たちが友の会のみならず、美術館として芸術を愛する多くの方々にとつて大いなる損失であり、後を継ぐ浅学非才の我が身には心細く、今更ながら悔しい気持ちいっぱいです。
でも今頃は彼の国で、生前から交流のあった宇一先生と手に手を取り合い、笑顔でお互いのご活躍を称えあつておられること信じたいと思つていらっしゃると思います。
駿造さんのこれまでのご活躍に感謝しながら、ご冥福を心よりお祈り申し上げます。
合掌

令和5年6月4日
鷹山宇一記念美術館友の会
会長 下山 恭美子



模型のタミヤがやってきた³

Part

「つくって」「あそんで」キミの未来は無限大！

2023年7月8日(土)→9月3日(日)

【入館料】	一般	1200 (960) 円
	高校・大学	500 (400) 円
	小学・中学	200 (160) 円

※ () 内は前売り券及び20名以上の団体料金。

【開館時間】 10:00～18:00
(最終入館 17:30)

【休館日】 毎週月曜日
(7/17は開館、7/18は振替休日、8/14は開館)

(株)タミヤは国内のみならず、海外にも多くのファンを持つ、日本を代表する模型メーカーです。本展はタミヤの精密なスケールモデル、自由自在な動きが楽しいラジオコントロールモデル、幅広い世代に人気のミニ四駆などを展示し、タミヤの魅力を存分にお楽しみ頂こうというものです。さらに、ミニ四駆を1/1スケールの走行可能な実車で再現した「エアロバンテ」や、ビッグタイヤが魅力の「モンスタービートル」の実車版を特別展示します。どちらも青森初上陸です！また、会場にはミニ四駆コースの設置や工作教室等の開催により、子どもたちに、自分の手で作り、生み出す「ものづくり」の喜び、楽しさをお届けします。

4年ぶりにタミヤ展が帰ってくる！更に楽しくパワーアップ！！

★「聞きながら見る鑑賞会」ギャラリートーク開催 ※申込み不要

【日程】 7/8(土) ① 10:30～11:30 ② 14:00～15:00
7/9(日) ① 10:30～11:30

【講師】 新田泰三氏 (株式会社タミヤ営業部催事課)

展示期間

7/8(土)～8/6(日)

「エアロバンテ」



★モデラーズ作品展示会 青森県の模型クラブによる展示会

青森で活動されている模型クラブの作品展示会です。

日時：7月8日(土) 7:00～20:00
9日(日) 7:00～18:00

協力：青森プラモデルズクラブ
場所：東北新幹線七戸十和田駅隣接
「七戸町観光交流センター」

※入場無料



～特別展示～



展示期間

8/8(火)～9/3(日)

「モンスタービートル」

体験イベント「つくって」「あそんで」

★ミニ四駆工作教室

- ①7月9日(日) ②7月15日(土)
- ③7月16日(日) ④7月17日(月)
- ⑤7月22日(土) ⑥7月23日(日)
- ⑦7月29日(土) ⑧7月30日(日)
- ⑨8月13日(日) ⑩8月14日(月)
- ⑪8月15日(火) ⑫9月2日(土)
- ⑬9月3日(日)

【所要時間】 60分

【体験料】 1,500円 (税込み)
(アルカリ電池2本付き)

【定員】 各回10名
(付き添いの方は1名まで)

【時間】 10:00～11:30
13:30～14:30

【講師】 野坂佳孝さん

★青森発 出張 寺四駆!

- ①8月5日(土) ②8月19日(土)
- ③8月20日(日)

【所要時間】 90分

【体験料】 1,500円 (税込み)
(アルカリ電池2本付き)

【定員】 各回10名
(付き添いの方は1名まで)

【時間】 10:30～12:00
13:30～15:00

【講師】 テラヨンカーズ
「テラヨンカーズ」とは

青森県佐井村にある長福寺の大広間をお借りし、子どもたちの遊び場、親子で息抜きできる場を作るべく「お寺で遊ぼう」をテーマに活動しています。

★スイーツデコレーション体験

「Tシャツクッキー」ストラップ作り!
毎週土曜日 (初日7/8を除く)

【体験料】 400円 (税込)

【時間】 11:00～12:00
14:00～15:00

※事前申込み不要

※食べ物ではございません。



★ミニ四駆コースで遊ぼう

会場常設コース



参加人数に限りがございますので、事前に電話予約が必要です。定員に達した場合、受付を終了することがございますので予めご了承ください。※小学生未満方のご参加は保護者の付き添いをお願いします。※イベントの参加は、入館された方が対象です。

【申込み】 7月1日(土)より受付開始 月曜日除く 10:00～18:00 TEL:0176-62-5858

作家生活 20 周年記念
「リラックマ」「うさぎのモフィ」から「ゆめぎんこう」まで

沢山のご来館
ありがとうございました。

「コンドウアキのおしごと展」が 6 月 18 日（日）に会期を無事に終了しました。



総入館者数は一万人を超え、大変多くのお客様にお越し頂きました。コンドウアキさんが描く、優しく可愛らしいキャラクターたちに癒された方も多いのではないのでしょうか。

4/14（金）
開催式・テープカット・特別内覧会



■テープカット/写真奥右から、青森放送株式会社十和田支局長・中村健治様、株式会社オフィス渋谷プロデューサー&アドバイザー・稲葉正治様、七戸町長・小又勉様、七戸町議会議長・瀬川左一様（当時）、当財団理事長・高岡和人。手前、町内の園児代表 3 名。

初日のお客様



初日、一番目のお客様は八戸市からお越しの高橋真弘さん。

5/9（火）5,000 人目



5,000 人目となったのは新潟県からお越しの堀川博美さん。

6/9（金）10,000 人目



10,000 人目となったのは弘前市からお越しの佐藤由莉香さん。夫婦で来館されました。

特別企画「ゆめ伝言板」



夢を書いてくれた方にはアメをぶしプレゼントしました。

壁一面、こんなに沢山の夢が集まりました。皆様の夢が、会場を彩ってくれました。ご参加くださいました皆様、ありがとうございました。

お客様からの声
アンケートから一部ご紹介します。

○とても楽しかったです！美術館の雰囲気も良くて素敵な時間になりました！
20代・女性

○ステキでした。コンドウさんの水彩画を細部までじっくり見られてうれしかったです。青森でみられるとは思っていませんでした。
30代・女性

○小学生の時好きだったリラックマの展示があると聞き、ぜひ見たいと思い、来館しました。一つひとつの作品にメッセージ性があり、よかったです。
20代・女性

縦入館者数 11,731 人!



○可愛いイラスト見たさに来場しましたが、とても良かったです！クスツと笑い、目を細め、ホッコリしたり、時にはジーンと染みたり、自分にとっても素直になれました。コンドウアキさんのことはあまり知らなかったのですが、この機会に作品に触れて、良い経験になりました。また来たいです。
50代・女性

○リラックマもモフィもかわいくて、とても楽しかったです！
10代

○とてもかわいくて癒されました。青森で開催していただけてうれしいです。子どもたちとゆっくり見ることができました。
20代・女性

○私が思うよりたくさんさんの作品がありびっくりしました。特に私は「モフィ」が好きです！！
10代

水彩色鉛筆で塗り絵をしよう



5月28日(日)は「水彩色鉛筆で塗り絵をしよう」です。

水彩色鉛筆とは、水に溶け水彩画のように楽しむことのできる色鉛筆です。色鉛筆のように塗った後、水を含んだ筆でなると水彩のような淡い色合いになります。さらに水を含んだ筆で直接、水彩色鉛筆の芯をなると水彩絵の具のように描くことができます。

はじめて水彩絵の具を使用する子ども達が多く最初は控えて塗っていましたが、徐々に持ち前の独創性を発揮。最後は額に入れて完成です。コンドウアキさんから「おふとんさん」と「うさぎのモフイ」のぬりえを提供していただきました。



製本をしよう



6月4日(日)は「製本をしよう」です。

製本は時間と手間がかかる作業です。まずは紙を折るところから始まります。紙の合わせがずれないように慎重に作業をします。折った紙をノリでくっつけて、花布、しおりひも、表紙を付けたら完成です。

作業中「おうちに帰って絵をかって絵本にしようかな。」「好きな写真や雑誌の切り抜きなどを貼ってスクラップブックにするのもいいかな。」「手帳にしてもいいかも。」「と、話が弾み、2時間という時間があつという間に過ぎました。

本棚に並べても遜色ない仕上がり。今度会ったら、何に使ったか教えてくださいね。



前号で無いと思ったら、「コンドウアキのおしごと展」にお出かけしていたのね、それはもしや、くまさんの後ろについている・・・!?

「せんべいストラップ」の紹介

6月10日(土)はせんべいストラップの紹介です。

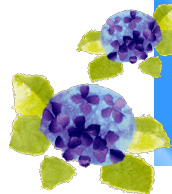
粘土で本物そっくりの「ママせんべい」をつくりましょう。「ママ」から粘土で作ります。黒い絵の具を練り込んだ粘土を細長くのばし、ひと手間加えるとはさみで切った切り口が涙型だ。「すごいママだ!」とうれしい声が。「ママをいっぱい作ったら、せんべい色にした粘土を押し当てる形で形を整えたら完成です。」

参加してくれたお二人はコンドウアキ先生のSNSを見て問い合わせをくれたそうです。ありがとうございます。すくおいしそなせんべいにできました。



【せんべいストラップづくりについて】
3日前までに申し込みいただくと「せんべいストラップづくり」を体験できますのでご相談ください。
※ただし、7月8日(土)～9月3日(日)のタミヤ展の期間はお休みいたします。
タミヤ展では初日を除く毎週土曜日にタミヤTシャツクッキーをつくるワークショップを開催します。興味のある方はぜひご参加ください!!

美術館日誌



◆ 4月 ◆

- 1日(土)
 - ・辞令交付式
 - ・展示替え、館内整備休館
- 4日(火)
 - ・「タミヤ展」WS打合せ
 - ・佐井村/テラコンカーズ
 - ・遠藤学芸員、織川学芸員
- 6日(木)
 - ・電気設備定期点検(佐藤電気)
 - ・「コンドウアキ展」作品搬入
- 7日(金)
 - ・展示作業(株)青森スタジオ
- 8日(土)
 - ・渡り廊下工事(有)辻村建築
- 12日(水)
 - ・道の駅草刈り業務打合せ
 - ・生涯学習課、商工観光課、物産館、当財団
- 14日(金)
 - ・「コンドウアキ展」開催式
- 15日(土)
 - ・「コンドウアキ展」初日(〜6/18)
 - ・友の会監査(〜2F工房)
- 16日(日)
 - ・七彩会油絵教室(〜2F工房)
- 21日(金)
 - ・上長地区社教尻内元気サロン
 - ・24名(こ来館)
- 26日(水)
 - ・令和7年度事業打合せ
 - ・青森県立美術館/対馬研究員、遠藤学芸員、織川学芸員

◆ 5月 ◆

- 9日(火)
 - ・友の会役員会(〜2F工房)
 - ・「コンドウアキ展」入場者5千人達成記念セレモニー開催
 - ・害虫調査(イカリ消毒(株))
- 10日(水)
 - ・「タミヤ展」打合せ
- 14日(日)
 - ・青森放送株佐々木氏、当財団
- 14日(日)
 - ・七彩会油絵教室(〜2F工房)
- 15日(月)
 - ・害虫駆除作業(イカリ消毒(株))
- 16日(火)
 - ・収蔵資料、会計監査(財団監事)
 - ・電気設備定期点検(佐藤電気)
- 17日(水)
 - ・照明LED化改修工事打合せ
 - ・生涯学習課、(株)石川設計、当財団
- 18日(木)
 - ・当館HPリニューアル打合せ
 - ・(材)株田澤氏、当財団
- 19日(金)
 - ・千葉学園高等学校(80名)こ来館
- 20日(土)
 - ・理事会(〜2F工房)
- 25日(木)
 - ・城南子ども園(30名)こ来館
- 28日(日)
 - ・WS「水彩色鉛筆で塗の絵をしよう」
 - ・2F工房/織川学芸員
- 30日(火)
 - ・当館HPリニューアル
 - ・「タミヤ展」打合せ
 - ・青森放送株佐々木氏、当財団
- 31日(水)
 - ・「東北障がい者芸術 全国公募展」打合せ
 - ・青森放送(株)井畑氏、当財団

◆ 6月 ◆

- 1日(木)
 - ・野辺地町教育委員会相談室
 - ・生徒3名引率2名(こ来館)
- 2日(金)
 - ・県民カレッジ連携機関連絡会議
 - ・上北教育事務所/大沢田副館長
- 2日(金)
 - ・六ヶ所村立千歳平小学校
 - ・1・2年生17名引率4名(こ来館)
 - ・RABラジオらじすく!エア
 - ・ふるさと特派員、織川学芸員
 - ・鷹山宇一記念美術館入場者60万人目記念セレモニー開催
- 4日(日)
 - ・WS「製本をしよう」
 - ・2F工房/織川学芸員
- 6日(火)
 - ・令和6年度事業打合せ
 - ・千葉県・東京都/大沢田副館長
- 7日(水)
 - ・電気設備定期点検(佐藤電気)
- 8日(木)
 - ・自動ドア定期点検
 - ・(ナフ)コシステム(株)
 - ・消防設備点検(昭和電気)
 - ・青森県立七戸高等学校美術部
- 9日(金)
 - ・「コンドウアキ展」入場者1万人達成記念セレモニー開催
 - ・11名(こ来館)
- 10日(土)
 - ・友の会総会(〜2F工房)
 - ・WS「せんべいストラップ」
 - ・2F工房/織川学芸員
- 11日(日)
 - ・浪岡中央母親クラブ
 - ・七彩会油絵教室(〜2F工房)
 - ・電気設備法定検査(佐藤電気)

○13日(火)

- ・財団会計定期確認
- ・近田会計事務所山本氏
- ・中部上北教育相談室
- ・生徒3名引率2名(こ来館)
- 14日(水)
 - ・館内3D撮影打合せ
 - ・企画調整課 地域おこし協力隊
- 15日(木)
 - ・「タミヤ展」打合せ
 - ・(株)タミヤ新田氏、青森放送(株)佐々木氏、井畑氏、青森スタジオ株葛西氏、日産プリンス青森石田氏 当財団
- 16日(金)
 - ・評議員選定委員会(〜2F工房)
- 18日(日)
 - ・「コンドウアキ展」最終日
- 20日(火)
 - ・展示替え休館(〜7/7)
 - ・「コンドウアキ展」作品撤去作業
 - ・青森スタジオ(株)
- 21日(水)
 - ・「コンドウアキ展」作品搬出作業
 - ・害虫トラップ回収・設置
 - ・イカリ消毒(株)
- 25日(日)
 - ・定時評議員会(〜2F工房)
 - ・臨時理事会(〜2F工房)
- 27日(火)
 - ・エアコンフィルター清掃
 - ・6/28、(有)東北ビル管理
- 28日(水)
 - ・照明LED化改修工事打合せ
 - ・(株)石川設計、当財団
- 29日(木)
 - ・展示台修繕作業
 - ・青森スタジオ(株)
 - ・友の会会報発送

彫刻家 鈴木正治の世界
 くおかえり 鈴木作品たち
 ギャラリー設立まで
 会員 小川展子

二〇一七年十二月、その第一便は届きました。木彫「タンジヨウ」、「ウゴカズ」、軸装された墨絵「太陽と富士山」、「桜と臥地藏」、「カクマキ」等を一点ずつ荷ほどきし、対面した時の心のときめきは、ほぼ四〇年ぶりの感覚でした。その二日後に第二便の「豊年祭えんぶり」（板彫）を初めとする、大作が届いたときには、ときめきが覚悟に替わったものでした。

私は一九八〇年代に七戸町で粟津潔や菅井汲、元永定正等の現代美術の作品を展示、紹介していて、そこへ鈴木正治さんが何度も訪れていました。ちょうどその頃、岩手町で国際石彫シンポジウムがあり、私も訪ね、氏との交流を深めていきました。

それ以来、方々の公共施設にある石彫や木彫、水墨画等を見ては、その優しさやユーモア、かつモダンな作風に惹かれました。その後、鈴木さんの妹の明子さん、最大の支援者である斎藤葵和子さん、東京都小金井市で鈴木作品のギャラリーを開いていた野玲子さんたちと出会い、親しくお付き合いするようになりました。

二〇一七年秋に的野さんから、

前述の三人が所有している二百点余の鈴木作品と全ての資料を私に託したいとお話がありました。身に余ることと思いつながらも、誰かが保存、管理、展示していかなければならないと覚悟を決めて、お引き受けしました。そして、冒頭の第一便が届いた訳です。

今回のタイトルの「くおかえり」は、長い間、小金井市にいた鈴木作品が故郷の青森に帰ってきたという意味で付けました。

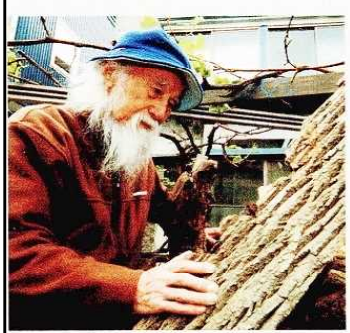
二〇二二年春には、大作「太平洋」や重さ50kgもある赤御影石の「誕生」等が最終便として届くまで、毎回ときめきと覚悟が入り混じりながら、鈴木作品と対面してきました。

ある作品は染み抜きを施し、ある作品は額装するなど、少しずつ整えてきました。

現在、自宅の離れを「ギャラリー・ノースライト」と名付け、小さなスペースですが、作品を展示、公開しています。このノースライトという名前は、離れの大きな窓が真北に向けて設けられていることに由来し、かつ北国から発する穏やかな光をイメージしたものです。

ここからは、鈴木作品を紹介します。今回は、木彫です。

鈴木 正治 (1919年～2008年)



PROFILE

1919年、青森市生まれ。少年時代から、絵や彫刻に勤しむ。弘前工業高校、中央美術学園（通信制）を経て、アンデパンダン展等に出品。独自の作風を築き、素材を選ばず、何にでも彫り、且つ描いた。青森の風土、人々の中で、生涯、作品制作一筋に生きた。イタリア（ピエトラサンタ）、フランス（パリ他）、アメリカ（バーモント州）でも制作。木彫り、石彫、油絵、墨絵、エッチング、エンボス等、青森を中心に岩手から、屋久島まで、多くの作品を残した。

(注) 会報82～86号で「彫刻家鈴木正治の作品を訪ねて」を連載。七戸町、三沢市、青森市浅虫、岩手町の作品を紹介しています。



「木の中のタンジヨウ」
 35cmほどの木をくり抜いて、中に釈迦様誕生の姿が彫られており、優しさに満ちた作品です。木肌の自然

前述のように鈴木さんは石彫や木彫、水墨画と多才で、若い頃は油絵も描いた方です。それらの作品の魅力の一つに、遊び心や不思議感があり、木彫はそういった特徴がもつとも表れていると思います。三つの作品とも、一本の木をくり抜いたもので、氏の発想の豊かさや技術の高さが感じられます。



「ツナガリ」

一本の木を鎖のように彫っています。手に取ると、自由自在に動きます。

「テラレナイ」
 木の中に球を閉じ込めたように彫っています。球は、手で回すことができます。



の温もりに包まれ、見ていると心が和みます。

『貸切バスで巡る山形県・福島県美術鑑賞の旅2日間』

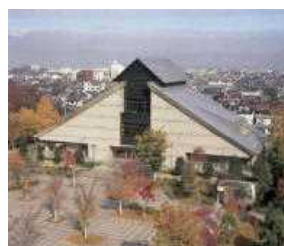
令和5年度研修旅行のご案内

新型コロナウイルス感染症の法的位置付けが季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に引き下げられたことから、令和5年度友の会秋の研修旅行をご案内致します。

山形県、福島県内の美術館を貸切バスで巡る美術鑑賞の旅です。詳細は募集チラシをご参照下さい。
 なお、大人の休日倶楽部ジパング会員の方の特典を考慮して、東北新幹線乗車券等は別途に各自で購入となります。詳細はチラシのほか事務局にお問い合わせ下さい。



諸橋近代美術館



山形美術館

令和5年度 秋の研修旅行案内

日時: 令和5年10月3日(火)～4日(水)1泊2日

研修先: 山形県・福島県内の美術館

参加費: **50,000円**

但し、JR東北新幹線往復交通費を除きます。

募集人員: 先着30名(最少催行人員は20名)

申込締切日: 令和5年 8月10日(木)

旅行説明会: 令和5年 8月25日(金)

申込先・問い合わせ先: 鷹山宇一記念美術館

研修行程(予定)

1日目: 新青森駅 はやぶさ10号(7:43)～七戸十和田駅(7:58)～八戸駅(8:11)～仙台駅乗換～福島駅下車(10:39)

◎貸切バス乗車～福島県立美術館～昼食～諸橋近代美術館～東山温泉「原瀧」泊

2日目: 貸切バス利用～会津鶴ヶ城(車窓)～山形美術館～昼食～出羽桜美術館・斎藤真一心の美術館～仙台駅貸切バス下車

◎仙台駅 はやぶさ39号(18:54)～八戸駅(20:13)～七戸十和田駅(20:25)～新青森駅(20:40)

※添乗員: 全行程同行いたします。

新規会員入会お誘いのお願いと 友の会会員登録更新のお願

令和4年度も会員の皆様には、友の会運営に多大なご理解とご協力をいただき、誠に有り難う御座います。
 新年度も友の会では、鷹山宇一記念美術館の応援と会員の皆様に喜んで頂ける研修旅行、講演会等を企画し、微力ながら地域文化の発展に寄与していく所存でございます。尚、更新及び新規入会手続きは、美術館窓口と同封の郵便振替により随時行っております。

○友の会の事業内容

- ①県内外美術館研修視察旅行(年2～3回)
- ②海外美術館研修旅行
- ③美術館作品購入基金への協力
- ④鷹山宇一記念美術館ボランティア協力
- ⑤会報の発行
- ⑥その他(美術講演会の開催等)

○一般会員

年会費 3千円
 特典 ①無料入館券3枚、会員証提示により入館料2割引

- ②ミュージアムグッズ1割引
- ③研修会、講演会への招待、優待
- ④他美術館等の視察研修への優待参加
- ⑤会報の配布

○特別会員

(個人・法人) 年会費 1万円
 特典 一般会員特典に加えて

- ①会員証提示により個人・法人会員とも本人及び同伴者1名まで無料入館
- ②新規加入の方に画集1冊贈呈

○賛助会員

(個人・法人) 年会費 2万円
 特典 一般会員特典に加えて

- ①会員証提示により個人・法人会員とも本人及び同伴者3名まで無料入館
- ②新規加入の方に画集1冊贈呈
- ③特別企画展の都度、招待券を贈呈

◇詳しくは、美術館までお問い合わせ下さい。

★お知らせとお願

会費の納入は随時受け付けておりますが令和5年10月1日以降に新規会員となられた方は、令和7年3月31日までの会費となります。尚、会費納入通知書代金等の通信経費節減のため、窓口での会費納入へのご協力をお願い申し上げます。

編集後記

会報第111号をお届けします。通常総会が無事終了。有難う御座いました。
 来るべき令和6年、友の会設立30周年に向けての記念事業スタート、美術館の応援と会報発行へのご協力をお願い申し上げます。(照井壽一)